知床科学委員会しんぶん

知床世界自然遺産地域科学委員会

NO. 18

世界自然遺産地域である知床の自然環境について、適切な保護管理策を検討するための「知床世界自然遺産地域科学委員会」の会議が標津町で開催されました（2020年度第１回：8月28 日）。本会議は毎年2回開催され、自由に傍聴可能です。

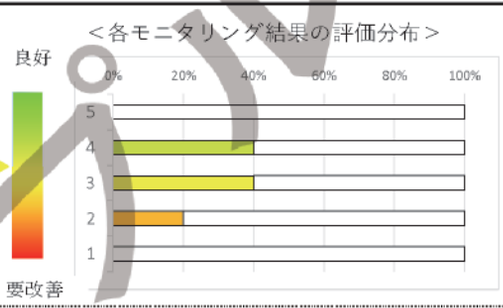
必見！TOPIC

長期モニタリングからみえる知床の実態

知床の自然環境（陸・川・海）やその利用状況の変化を正確に把握するため、37項目にわたるモニタリングが2012年に始まりました。モニタリングの結果は、健康診断表（下図）のような形にまとめようとしています。

これまでのモニタリングの結果から、問題点も浮かび上がってきました。（裏面参照）

※現在検討中の案です(一例)

評価項目	**Ⅵ エゾシカの高密度状態によって発生する遺産地域の生態系への過度な影響が発生していないこと。**
評価項目選定理由	ユネスコ／IUCNの調査報告書において勧告されている。（勧告10）
評価案の作成主体	エゾシカ・ヒグマワーキンググループ
評価年月	2021年2月（予定）
評価対象期間	2012年～2019年（ただし一部のデータは2011年以前のものも使用）
総評	評価値 3.2 注視すべき状態  ＜注視すべき状態＞ 一部地域でエゾシカの密度低下や植生回復の傾向が確認されているが、遺産地域の生態系へのエゾシカの影響は引き続き生じている。

対応するモニタリング項目とその評価

No.	モニタリング項目	評価基準（概要）	個別評価
7	エゾシカ個体数調整実施地区における植生変化の把握（森林植生/草原植生）	1980年代以前の状態に回復しているか	
8	知床半島全域における植生の推移の把握（森林植生/海岸植生/高山植生）	1980年代以前の状態に回復または維持しているか	
10	エゾシカ主要越冬地における生息状況の把握（航空カウント/地上カウント）	発見密度が一定水準以下となっているか	
11	陸上無脊椎動物（主に昆虫）の生息状況の把握	遺産登録時と比べて多様性の低下が生じていないか等	
12	陸生鳥類生息状況の把握	遺産登録時と比べて多様性の低下が生じていないか	

ホンバン

※詳細は知床データセンターHPをご参照ください。

長期モニタリング計画について：http://shiretoko-whc.com/management/monitoring.html

評価手法：http://shiretoko-whc.com/data/meeting/kagaku_iinkai/r01/shiretoko_R0102_shiryo3-2.pdf

ココ注目! 長期モニタリングの10年から見えてきた問題点

海鳥が減っている?

問題点

カモメやウは沢山いるように感じますが、実は世界遺産エリア内では巣の数が過去10年で急速に減少しています。その原因は、はっきりしていません。

なんで問題?

海鳥は海洋の様々な生き物を大量に捕食し、陸上でそれを排泄(窒素やリンを供給)します。そのため、海と陸の生態系に影響を与えるかもしれません。

海鳥の減少により海と陸の生態系にも影響?

減少しているオオセグロカモメ(左上)とウミウ(右下)

なかなか回復しない知床の植生※!

※植生:ある地域に集まり生育する植物の集団

問題点

シカの強い採食圧は植生を劣化させるため、半島内の複数地区で個体数調整(捕獲)を実施しています。

草原は少しずつ回復していますが、目標とする1980年代以前の状態には至っていません。森林では稚樹が想定より増えず、次世代の木々が育たない状態が継続しています。

なんで問題?

シカの採食圧により、特定の種やお花畑の消失など深刻な環境変化が日本各地で起きています。

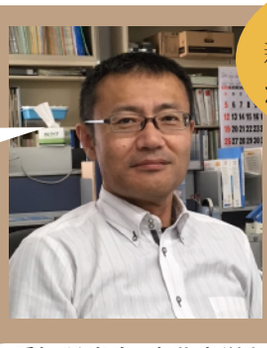
知床は海から山まで多種多様な植物が生育し、それを多くの動物が利用しています。そのため、植生の劣化は、知床の自然そのものを変化させてしまいます。

エゾシカによる広葉樹の食害・枯死

科学委員会に新しく山口委員が加わりました

北海道に住んで35年が経ち、子供の頃には憧れでしかなかった北の大地が自分の確かなフィールドとなっているこの頃です。最初の赴任地であった網走の職場の窓から、網走湾を挟んで遠望していた四季折々の知床連山が記憶にはっきり残っています。その知床の自然とそこに生きる動物たち、そして人々の暮らしとの調和を守っていくことは、非常に意義があることですし、やりがいを感じております。今後とも宜しく御願いいたします。

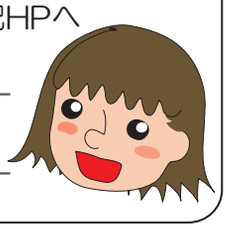
委員　山口　幹人



愛知県出身。東北大学を卒業後、北海道立網走水産試験場、中央水産試験場(余市)、稚内水産試験場に勤務。専門は水産資源生態。

現職は北海道立総合研究機構水産研究本部中央水産試験場資源管理部研究部長。

●しんぶんのバックナンバー、会議や知床世界自然遺産地域の情報を更に知りたい方は下記HPへ
知床データセンター:http://dc.shiretoko-whc.com/



■問合せ先■　環境省釧路自然環境事務所
〒085-8639 北海道釧路市幸町 10-3 釧路地方合同庁舎 4 階　TEL 0154-32-7500 FAX 0154-32-7575

■発行:環境省 / 制作:公益財団法人 知床財団 / 発行:2020年11月